

## 令和5年度 第5回 神戸中学校学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和5年12月9日（土）9：00～11：00

2 場 所 神戸中学校会議室・北館2階教室

3 出席者 委員：是枝徳義、兼丸良政、林佳代子、阿部雅登、河北瑞希、生駒明子、  
片岡裕明（学校長）  
学校教職員：市川泰（教頭）、樋口智己（教頭）、

4 あいさつ（委員長）

本日は、神戸中学校と神戸高等学校が協働して、続けているステップアップスクールの参観を楽しみにしています。この後、参観しましょう。また、最近インフルエンザが猛威を振るっていますので、皆様もお身体ご自愛ください。

5 ステップアップスクール参観

進路を控えた神戸中学校3年の希望者対象に行われている学習会で、神戸中学校教職員を神戸高等学校の高校生が学習のサポート役として協力して指導を行っている取組の参観。その後、ステップアップスクールを含め、協議を行った。

（委員）土曜日は学校が休みだけど、神戸高等学校の高校生は講師役として参加してくれていることは、素晴らしい。理数科はSSSとなっているが、どのような生徒が講師として参加してくれているのか。

（委員）将来、教員などの教育関係を目指している高校生が、講師として参加しています。

（委員）中学生の支援の必要な生徒を高校生が適切に支援していたことに驚いた。また、去年に比べて中学生の参加人数が少ないように思う。クラス編成は、どのようにされているのか？

（校長）先週12月2日（土）は、もう少し参加人数がいた。先週は高校生が14人、今年の中学生の参加者は昨年度よりは少なくなっている。また、今週はインフルエンザによる学級閉鎖や欠席者が多くみられたこともあり、本日の参加者は少なくなった。中学生の参加所は各クラスで希望者を募り、参加しており、コースを2つに分けて支援している。

（委員）学習を苦手と思っている生徒には、少人数で指導することが効果的だと思う。

（委員）私も昨年度に比べると中学生の参加が少ないと思った。また、高校生が教育関係に進んでくれることには期待している。

（委員）中学生からすると歳の近い高校生に教えてもらうことは、先生から教えてもらうこととは少し違って、良い刺激になったと思う。

（委員）先生から教えてもらうこととは違った捉え方になると思う。年齢の近い高校生に教えてもらうことは、こんな風に自分もなりたいたいと思えるのではないか。

（委員長）今年は参加人数が少ないように思われたので、生徒が参加しやすい取組をして

いつていただきたい。

(委員) 学校の先生になり手が少ない世の中になってきたので、講師としてボランティアで参加された高校生についても大切に育てていつていただきたい。

## 6 報告

学校長より神戸中学校だよりを使用しての報告。

(校長) 全国学力学習状況調査について保護者あてに学校通信を出した。課題については、国語：根拠を明らかにし、説明することが苦手である。「読むこと」「書くこと」についての問題の正答率が低い。数学：短答式、選択式問題の正答率が低い。正答率が二極化している。英語：選択式問題の正答率が低い。英作文の正答率が低い。良いところは、国語では、指示に従って本文を抜き出すことはできている。生徒質問紙から、「数学の授業内容がわかる」と肯定的回答をした生徒が合わせて78%であり、習熟度別学習の成果と考えられる。本校生徒の平日の学習時間は全国を上まっている。鳴門教育大学のアンケートより、「1. 自分から進んで勉強に取り組んでいる。」「2. 授業中、自分の考えと比較しながら、友だちの考えを聞いている。」「3. 授業中、進んで発言したり、考えを発表したりしている。」「4. 学校の宿題をしている。」の項目が市内中学校より若干低い値になっていることより、学校生活において、学力のみにアプローチするのではなく、人と人とのつながりを大切に育むことと両輪で育成に努めていきたい。研修のテーマ「Heartful 神中」として取り組んでいる。

また、来年度、できれば河曲小学校と連携して引き渡し訓練をしたいと考えている。

(委員) 防災教育に関しては、できるところから行っていくことが大切だと思う。実施するならばかなりの悪天候の場合または、犯罪が起こったことを想定して、災害対策本部が河曲地区市民センターとなるので、河曲地区市民センターとの連携は有効と思われる。ただ、できることから進めていくことが大切である。

(委員) 習熟度別学習については、英語も検討いただきたい。

(委員) 今の子どもたちはコミュニケーション能力が身につけているわけではないので、丁寧に指導していく必要があると思う。

(委員) 学力差が出てしまうのは、現実としてあるので、それよりもこれから地域の大人となっていく中学生を大切にしていきたいと思う。人間関係は鏡であると思う。まずは、自分が微笑めば人も微笑む。鏡が先に微笑むことではないので、まずは自分からだと思う。子どもたちに接することも大人として同じだと思うので、地域と連携して、子供たちを育てていければと思う。

(委員) マチコミに大変興味がある。子どもたちへの紙面が、その日のうちに保護者に届かないことが多々あるので、スマートフォンのアプリで配信していただくとありがたい。

(委員) 「クラスで安心して学ぶことができない」というアンケート結果は気になるころではある。ただ、私の子どもの様子を見ると1年生から2年生になって友人も増え、かかわりも広がってきているので、アンケートをうのみにするのはいかなものか。人によって異なると思う。

(委員) 長期欠席についてはどのように対応しているのか。

(校長) 一人ひとりが全く異なるので、個々に合わせた対応を行っている。

(委員) 不登校生徒の保護者にとっては、学校の支援は大切なことだと思うので、できる限り個々に合った対応を丁寧にしていただきたい。

(委員) 地域づくり協議会は年4回除草作業を行っている。河曲小学校も同日に行っている。神戸中 PTA が交通指導や別日に除草・清掃活動をされていることは知っているが河曲地区まちづくり協議会と河曲小学校 PTA は、同日に活動しているので、神戸中 PTA も同日に共同で開催できたらよいと思うので、PTA 会長さん検討をお願いしたい。

(委員) 岡田財団から神戸中学校の竣工式に寄付されたソーラーパネルを修理されるよう鈴鹿市教育委員会から聞いている。

(教頭) 鈴鹿市教育委員会事務局教育政策課施設設備グループ担当者からは、ソーラーパネルの発電は、継続して行われると聞いており、校内にある表示装置の基盤が廃盤になっているので、修理はかなり難しく、ほかの方法を検討すると聞いています。

## 7 今後の予定について

(校長) 学校評価をしていただくことになるので、年明けにお届けします。よろしくお願いいたします。

(教頭) 次回は、2月16日(金)午後6時から、会議室になります。